

【公益】社会福祉・その他福祉活動事業

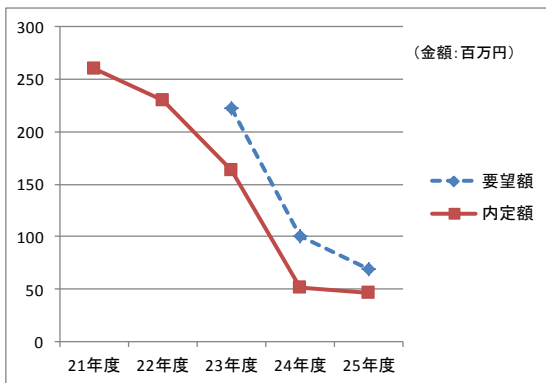
1. 補助の目的・概要

社会福祉の増進を目的とする事業の中で、他に分類されないその他の福祉事業については、その内容を審査の上、社会福祉の増進に不可欠の事業であるものについて支援を行ってきた。

平成 23 年度の公益事業振興補助においては、幸せに暮らせる福祉社会をつくる取組みとして、介護要員の養成支援や家族への相談事業、啓発事業等への支援を行った。

2. 補助実績（件数・金額）

社会福祉・その他福祉事業



年度	要望数 (件)	要望額 (百万円)	内定数※ (件)	内定額※ (百万円)
21年度			18	260
22年度			14	230
23年度	10	223	7	163
24年度	5	101	4	51
25年度	6	69	4	47

※辞退となった事業を除く

平成 23 年度においては、10 件 2 億 2,300 万円の補助要望があり、そのうち幸せに暮らせる福祉社会を作る活動事業 5 件に 5,500 万円、法人格を有さない団体に対して行う支援事業 2 件に 1 億 800 万円、合計 7 件に対し、1 億 6,300 万円の支援を行った。なお、8 件の内定事業のうち、1 件が辞退となった。

3. 補助事業の事例

公益財団法人さわやか福祉財団 幸せに暮らせる福祉社会をつくる活動

ふれあいの居場所の普及に向けた勉強会等の開催、自分の住み慣れた地域でいつまでも安心して生活していける「地域包括ケアのある町」づくりを進めるため、全国のさわやかインストラクターの全国会議・候補者研修等、地域支援を実施。



公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会
幸せに暮らせる福祉社会を作る活動

介護福祉士養成施設の教職員研修会の開催

全国の介護福祉士養成施設の教職員が自らの資質を高め養成教育の質を高めるため、講演聴講、シンポジウムの聴講、実践発表、情報交換等を実施。



4. 補助事業の成果

(公財) さわやか福祉財団が行う、幸せに暮らせる福祉社会をつくる活動に支援を行った。この事業は、福祉社会において重要視されるインフォーマルサービスの担い手となるボランティア活動について、インストラクター養成研修会やブロック会議を開催してリーダーとなる人材育成を図るとともに、地域における助け合いのシステム作りのための啓発資料を作成した。

また、(公社) 日本介護福祉士養成施設協会が行う、介護福祉士養成施設の教職員研修会の開催事業についての補助を行った。この事業は、平成 23 年 11 月 24 日(木)～26 日(土)の日程で、大分県別府市・別府国際コンベンションセンターにおいて開催されたもので、全体講演やパネル・ディスカッションの他、8 つの分科会において介護現場の現状や問題点、介護要員養成のための教育のあり方等について検討した。

これらの事業により、幸せに暮らせる福祉社会の実現に向けて、調査研究や普及啓発、相談業務や要員育成等さまざまな角度から事業が行われた。

5. 補助事業の評価

事業完了後の事業者の自己評価の総合評価は、評価対象 40 件(1 補助事業で複数項目を評価していることがあるため事業数とは異なる)のうち、5 段階評価で、評価 5 [極めて高い]が 1 件、評価 4 [比較的高い]が 13 件、評価 3 [ほぼ問題ない]が 26 件であった。

事業者の自己評価等を踏まえ J K A で評価を行ったところ、A++ [極めて高い]が 5 件、A+ [比較的高い]が 35 件と、すべての事業で補助事業として概ね十分と評価される A+ 以上の評価となっており、補助の目的としている社会福祉の増進に寄与することができたと思われる。

6. 今後の検討課題

この分野については、児童・高齢者・障害者の切り口以外を対象とする事業の受け皿であり、相談事業や介護者の教育事業等が含まれる。引き続き支援すべきものでは

あるが、事業の内容、補助事業の効果、成果の波及等について検証する必要がある。